

IEA「月例石油市場レポート」の概要
(2015年3月13日公表)

毎月一度IEA(国際エネルギー機関)が公表する「月例石油市場レポート」について、2015年3月13日に公表されたレポートの概要以下の通り。

1. 原油価格は、2月初旬の上昇後に安定化。ICE ブレント価格は、膨れ上がる在庫で下方圧力がかかっている NYMEX WTI 価格より上昇。レポート作成時、ブレント価格は約58ドル/バレルで取引されており、1月の6年ぶり低価格より約30%の上昇。WTIは約48ドル/バレル。
2. 世界の石油需要は、2014年第2四半期に底入れ後、着実に増加。2014年第4四半期及び2015年第1四半期は、それぞれ前年比約0.9mb/d、1.0mb/d増加見通し。2015年の需要予測は、平均93.5mb/dとなる見込み。
3. 世界の石油供給は、2月に前年比1.3mb/d増加し、94mb/dとなる見込みであり、非OPEC諸国の1.4mb/d生産増が主要因。米国における掘削設備の減少は、北米の生産増減少には至っていない。昨年12月の確定データ及び2015年第1四半期の暫定データは、予想以上の米国原油生産量を示しており、2015年の北米生産見通しを上方修正。
4. OPEC原油生産は、2月に30.22mb/dに減少。これはリビアとイラクの生産減少がサウジアラビア、イラン及びアンゴラの生産増により相殺された結果。石油需要の僅かな増加見通しは、2015年第2四半期におけるOPEC石油に対する需要(Call)を引き上げ、30.3mb/dとなり、OPECの公式な生産目標30mb/dを上回る。
5. 世界の原油精製処理量は、継続する高いマージンと石油需要の僅かな増加見通しに基づき、2015年第1四半期77.8mb/d、2015年第2四半期77.3mb/dと引き上げ。前年比は2015年第1四半期に約1.0mb/d増と見込まれるが、これは石油製品の需要増見通しに沿って2014年第4四半期の2.2mb/dから急激な下落。
6. OECD諸国の商業在庫は、1月に平均より小幅の23.1mb/d上昇し、273.3mb/dになり、平均を60.3mb/d上回るレベルに。米国の原油在庫は、過去最高の72mb余剰まで上昇。暫定データによれば、積み上がる米国原油在庫と天候関連による急激な石油製品の需要増加とが相殺しあい、2月は弱含みの8.8mbの在庫レベル引き下げ。